

1 題材名 「奇想天外な世界 ～コラージュの技法を取り入れて～」

2 題材について

普段子どもたちの何気ない会話のやりとりを聞いていると、空想の話や有り得ない世界の話で楽しんでいるのを耳にすることがある。何かの話をきっかけに子どもたちの想像がどんどん膨らみ、自分の家がビルみたいな大きな家だったり、宇宙の星と通信していたり、自分が異次元のパワーを持っていたりお菓子でできた洋服を着ていたり…とその世界は多種多様でまさに奇想天外である。もちろん子どもは現実の世界に生きていて、その世界に実際に行くことはできないが、それをつくることができる、と考えればわくわくするだろう。そのような本来子どもが持っている何気ない自由な発想力を作品づくりに生かしたいと考え、この題材を設定した。

本題材は学習指導要領 第5学年及び6学年の目標及び内容

目標 (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。

内容 A 表現 (1) ウ 前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしてつくること
(2) ウ 表したいことに合わせて、材料や用具の特徴を生かして使うとともに、表現に適した方法などを組み合わせて表すこと。

にあたり、想像力を働かせて発想し、自分の表したいイメージを持ち、それに合わせて表現方法や材料を選び、表したいものを自由に表現していく造形活動である。

本学級の子どもは図工が好きで、製作活動に熱心に取り組む。しかし、作品の製作となると自分だけではアイデアが湧かずに教師のアドバイスに頼ってしまう子どもが多く、自分の自由な発想で作品をつくり上げていくことが難しい。そこで、自分で発想を広げながらのびのびと表現する造形活動の楽しさを味わわせたいと考え、本題材を設定した。

本題材において、奇想天外な世界を絵画でつくろうと思っても、絵が苦手な子どもにとってはなかなか思い通りに表せない難しさがあるだろう。そこで、ある程度容易に画面を構成できるコラージュの技法に着目した。コラージュは身近にあるあらゆるものが材料になり、気軽な気持ちで材料を並べながら自由な組み合わせで画面構成をしていくことができる。初めに主題がない状態でも製作に入ることができ、材料に触れ、手を動かしているうちに独特の世界が見えてきて、思いを構築していくことができる。また、描くことが苦手な子ども、容易にユニークな世界を形づくることのできるよさもある。

本学級の実態をふまえ、製作に入る前に、まずはのびやかに発想を広げさせたいと考えた。発想を広げていく手がかりを、教師の助言ばかりでなく、なるべく自分で見つけさせたい。そこで、手がかりになるものとして、中心となる材料に写真の切り抜きを取り入れる。雑誌や広告などの写真は切りやすく、拡大・縮小写真など様々な大きさがあり、その組み合わせが自由である。この部分をつなげたらおもしろそう、切り抜いたら〇〇に見えた、など子どものイメージを広げていくきっかけとして扱いやすいだろう。まずは気軽な気持ちで写真を組み合わせを試みたり並べてみたりして、そこで生まれる偶然性をきっかけにして発想を広げさせたい。テーマありきで製作活動に入るのではなく、操作をさせながら画面を構成していくうちに見えてきたストーリーを大切にしながらより柔軟な発想につながり、コラージュならではの楽しさが味わえると考えた。更に、行き詰まる子どもに対しても、「つなげてみよう。」「同じ色や形を集めてみよう。」などと声かけをすれば、自分自身の発想を生むきつ

かけになり、一人ひとりが取り組みやすい活動になると考えた。

最初は到達点の想定できない状態での製作になるが、ある程度製作が進んでくると、自分の作品のテーマが見えてくるだろう。そこからは、ただなんとなく切り貼りをするのではなく、表したいイメージに合った材料選び・加工など、画面構成の工夫もできるようにしたい。

このようにして、教師が教え込むのではなく、子どもらしい柔軟な感性や発想を広げていく力、自分の表したいイメージを作品にしていく力、画面構成の能力を育てたい。

3 題材の目標

- 材料に触れながら手を動かし、コラージュの楽しさを味わうことができる。(関心・意欲・態度)
- 材料に触れながらイメージを広げ、テーマや画面の組み立てなど表現の構想を練ることができる。(発想や構想の能力)
- 想像した世界が効果的に表れるように描画材料の扱いや表現方法を工夫することができる。(創造的な技能)
- テーマや表し方の良さに関心を持ってお互いの作品を見合うことができる。(鑑賞の能力)

4 指導計画(7時間扱い)

時数	活動内容	具体的手立て
	事前に「材料ブック(クリアポケットファイル)」を作成し、使えそうな材料を集めておけるようにしておく。(雑誌・広告・パッケージ・パンフレットの切り抜きなど)	
1	○コラージュの作品を見てコラージュの特徴を知る。 ○自分の集めた材料を操作しながら自由に組み合わせる楽しさを味わう	・コラージュならではの自由な組み合わせができる良さに気付かせるようにする。 ・友達とアドバイスし合いながら発想を膨らませていくようにする。
2 3	○作品をつくり始める。 ・集めた材料を並べたり組み合わせたりして作品に対してのおおまかなイメージを持つ。 ・台紙の色を選ぶ。 ・台紙に事前に学んだ技法(スパッタリング・マーブリングなど)を施す場合は彩色する。 ・作品に自分の写真を入れる場合は撮り合う。	・自分で作業が進められない子どもには「好きな形や色を集めてみよう」などの声かけをすることで、発想の手助けとする。 ・事前に学んだ技法を取り入れて、表したいイメージに近づける方法もあることを伝える。 ・新たに使いたい材料が出てきた場合はその目的を確認し、許可していく。
4 5 (本時)	○画面構成を工夫しながら自分の表したい世界をつくっていく。 ・材料を操作しながら更にイメージを広げる。 ・集めた材料の効果的な使い方を考える。	・子どもが思いつかないような表現資料を提示することで、意欲の更なる喚起につなげる。 ・材料の扱い方次第で表したいイメージに変化が出ることに気付かせる。
6	効果的な使い方 考えられる材料の	「切り方」(破る・効果的な切り方(ぎざぎざ、もくもくなど)で切るなど) 「加工」(穴をあける・切り込みを入れる・立体的にする・折る・丸める) 「配置」(画面からはみ出す・向きを変える・置く位置を変えるなど) 「接合」(重ねて貼る・穴から覗かせて貼る・浮かせて貼る・台紙に切込みを入れてはさむなど) 「その他」(窓をつける・扉をつけるなど)
7	○友達と作品を見合う。 ・自分の作品のイメージを紹介する。 ・友達の作品の良さを見つける。	・作品の題名をクイズ形式にして友達と対話し、いろいろな見方があることに気付く。 ・作品を見る視点を投げかけ、いろいろな感じ方や見方を広げることができるようにする。

5 本時の指導

(1) 目標

○材料に触れながらイメージを広げ、テーマや画面の組み立てなど表現の構想を練ることができる。(発想や構想の力)

(2) 仮説

前時までに子ども達は、自分の集めた材料を切ったりつなげたり重ねたりして、いろいろな操作をしながら自由に材料を組み合わせる楽しさを味わってきた。そこで偶然できた世界から発想を広げ、画面に自分だけのオリジナルの世界をつくり始めたところで、今その製作途中である。途中で友達との対話の時間を設け、そこで自分と違った見方もあることを感じさせたり、対話の中から「ここが〇〇だったらおもしろい」など新たな材料や加工のヒントを見つけたりしながら製作を進め、さらに発想が広がってきたところである。

終末では、集めた材料の効果的な使い方に注目して鑑賞をし合い、より自分の表したい世界にしていくための材料の切り方・加工・配置・接合の仕方について話し合った。ただ適当に切って単純に並べて貼るのではなく、材料を貼る位置や材料の切り抜き方などで雰囲気が変わり、より作品に味が出ておもしろくなること感じさせた。そこで、これからは材料の新たな加工や接合などの製作のポイントを視野に入れて製作を進めていく見通しを持ったところである。

<全体仮説>

子どもの発想が広がるような手立てを工夫すれば、子どもが自ら造形活動を楽しむことができるだろう。

※全体仮説の本時に関わる手立ては下線で表した。

○学習の道すじの工夫

作品の製作にあたり投げかけられたテーマを表現しようとする、本学級の子どもたちは、テーマに捉われて「何をすればいいかわからない」と手が止まってしまう、テーマに関する写真のみを集めたがどのように画面に構成していけばよいかかわからない、などの壁にぶつかるだろう。そこで本学習では、まずは写真を組み合わせたり、並べてみたりすることによって生まれる偶然性から発想を広げていく。テーマありきで製作活動に入るのではなく、操作活動をさせながら画面を構成していくうちに見えてきたストーリーを大切にしながら、より柔軟な発想につながり楽しさが味わえるのではないかと考えた。

○材料の工夫

コラージュの材料として考えられるものは、切り抜き写真・自然物・一般的な工作材料などいろいろなものがあるが、今回は特に「写真の切り抜き」に焦点を当てた。何でも材料として紹介し、それらを使わせることも楽しい作品につながる1つの方法だと思うが、限られた材料の中でこそ、材料の効果的な使い方(切り方を変える・簡単に加工する・配置による効果を考える・接合法を工夫するなど)に目を向けさせることができ、表し方に新たな発想が生まれるだろう。また、「写真の切り抜き」はある程度雰囲気や特徴が決まっているので、材料に触れ、手を動かしながら組み合わせや配置を考えていくうちに、「ここにこれがあるといい」「〇〇に見えるからこうしよう」など偶然性から奇想天外な発想を広げていくことができると考えた。しかし、発想が広がるとともに、新たに子どもの方から使いたい、という材料が出てきた場合には、その発想を認め、目的を確認し、許可するようにしていく。また、本単元では事前に「材料ブック(クリアポケットファイル)」を用意し、これから作品を作っていくにあたって使えそうな材料を集めておき、随時追加できるようにしておく。製作時間中には、グループに1つの共同材料BOXと学級共通の種類別材料BOXを置き、思いがけない材料の発見もできるようにしておく。共同材料BOXには子どもたちが作業中に出した紙や写真の切れ端など、学級共通の種類別材料BOXには、教師が意図的に用意したものをに入れておき、「困ったら共同材料BOXを覗こう」と手がかりのない子どもへの一助となるようにする。このように、特徴のある材料を扱うこと、また困ったときの手がかりBOXがあることで材料から発想を広げることができ、造形活動を楽しめるのではないかと考えた。

○製作ポイントの振り返り

本学習では、作品を鑑賞する時間を確保することにより、友達の取り組んでいるいい方法を全体で取り上げ、画面構成の工夫につなげていきたい。友達の作品や模範作品を見ながら材料の効果的な使い方に目を向けさせ、工夫次第でイメージに変化が出ることに気付かせたい。そうすることで、ただ切って貼り付けるのではなく、自分の表したいイメージに合った表し方を選んで製作に取り組めるだろう。

ここで取り上げる製作のポイントとは「切り方」「加工」「配置」「接合」である。切り方には「破る」「直線で切る」「曲線で切る」「ふちをのこして切る」「ふちを残さず切る」「効果的に切る（ぎざぎざ、もくもくなど）」などの方法が考えられる。材料への加工法は「穴をあける」「切り込みを入れる」「立体的にする」「折る」「丸める」などが考えられる。配置の仕方は「画面からはみ出す」「置く位置や向きによる効果の違い」などが考えられる。接合には「重ねて貼る」「穴から覗かせて貼る」「浮かせて貼る」「台紙に切り込みを入れてはさむ」などの方法が考えられる。加えて「窓をつける」「扉をつける」などの工夫も考えられる。以上のような工夫のポイントについて掲示資料をもとに振り返らせる。本時の製作が、集めた材料をただ並べて貼るのではなく、効果的な表し方を考えながら発想を広げ、画面構成を工夫していくことができるようにさせたい。

掲示資料とは、それぞれの方法が視覚的にわかるように紙に加工を施したものを画用紙に貼った掲示物である。いろいろな工夫のポイントを工作室に掲示しておき、製作時に振り返りながら作品づくりを進めていくように促す。そのポイントを意識することでより一層画面構成のイメージが豊かになっていくようにする。また、必要に応じて導入時に友達の作品を取り上げて材料の効果的な使い方を話題にし、その工夫のポイントを製作時に取り入れていけるようにする。このようにすれば子どもたちは、表したい世界が効果的に表れるように材料の扱いや表現方法の発想を膨らませ、工夫して画面を構成することができるだろう。

(3) 展開 (5/7)

段階	学習内容と活動	教師の支援 (○) と評価 (●)	資料・教具
導入	<p>1 前時に発見し合った作品の工夫や良さをについて簡単に振り返り、本時の活動内容を把握する。</p>	<p>○必要に応じて複数の作品を意図的に用意し、材料の効果的な使い方について掲示資料とともに簡単に振り返りをする。</p>	<p>友達の作品 模範作品 掲示資料</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>集めた材料の効果的な表し方を考えながらさらにイメージを広げ、画面構成を工夫しながら自分の表したい世界を作ろう。</p> </div>		
展開	<p>2 材料の効果的な表し方を考えて製作する。 ○製作のポイントを意識して製作する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>切り方…「破る」・「直線で」・「曲線で」・「ふちをのこして」・「ふちを残さず」・「効果的な切り方（ぎざぎざ、もくもくなど）」 加工法…「穴をあける」「切込みを入れる」 「立体的にする」「折る」「丸める」 配置…「画面からはみ出すように」「置く位置を変える」「向きを変える」 接合の仕方…「重ねて貼る」・「穴から覗かせて貼る」・「浮かせて貼る」 「台紙に切込みを入れてはさむ」 その他 「窓をつける」「扉をつける」</p> </div>	<p>○グループに1つの共同材料BOX、学級で共通の種類別材料BOXを置き、新たな材料の発見ができるようにしておく。</p> <p>○すぐに接着せず、まずは仮止めでつくっていったほうが後からの修正がしやすいことを伝える。</p> <p>○手が止まっている子に対しては発想の手助けとなる声かけをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・つなげてみよう。 ・同じ色や形を集めてみよう。 ・動きを入れよう。 ・材料BOX、ブックを覗いてみよう。 	<p>共同材料BOX 種類別材料BOX <材料> ・雑誌などの切り抜き写真 ・紙など <道具> ・貼ってはがせるのり ・のり ・はさみ ・カッター</p>

鑑賞	<p>3 友達の作品を見て、発見したことや感じたことを伝える。</p> <p><作品を見る視点></p> <ul style="list-style-type: none"> ・切り方や加工法・配置・接合法で工夫しているところ ・おもしろい発想 ・使うと良さそうな材料 ・「私ならこうするよ!」という発想や材料の効果的な使い方アドバイス 	<p>○ただ順番に並べている、など画面構成の工夫が見られない子に対しては 掲示資料を振り返らせ、製作のポイントを意識できるように声かけをする。</p> <p>●材料に触れながらイメージを広げ、 テーマや画面の組み立てなど表現の 構想を練ることができる。 (発想や構想の力)</p> <p>○友達の作品を見る視点を確認してから鑑賞するようにする。</p> <p>○もらったアドバイスを次回に活かせるように助言する。</p>	
----	--	--	--

奇想天外な世界！～コラージュの技法を取り入れて～

名前()

<作品づくりの流れ>

- ① まず、とにかく材料を集めよう。身近にあるいろいろなものが、見方を変えると、素敵な材料になるよ！
材料を集めたら種類別にしてクリアポケットファイルに保管しておこう。

★こんなところで手に入る！いろいろな材料★

<町で>

フリーペーパー・無料でもらえるカタログ・ちらし・パンフレット・チケットなどには写真がいっぱい！

(例)

洋服・家具の写真(フリーの通販カタログ)

食べ物の写真(広告・ジュースやお菓子のパッケージ・お中元のカタログ・スーパーにあるフリーレシピ・クーポン)

スポーツ関係の写真(スポーツ屋さんでもらえるカタログ)

電化製品の写真(電器屋さんでもらえるカタログ)

動物の写真(動物園のパンフレット)

景色・たてもの・乗り物の写真(旅行のパンフレット)

車の写真(車のカタログ)

きれいな海の世界や景色など(カメラやテレビのカタログ)

その他いろいろなところにいろいろな写真があるはず！いらなくなった雑誌や写真があれば、その中も見てみよう！

- ② とりあえず、これおもしろい！素敵！と思った写真を切り抜いてみよう。

切り抜き方でもイメージが違うよ。 破って切り抜く？ ふちをのこして切り抜く？ 線ぴったりに切り抜く？ 効果的な形にして切り抜く？

- ③ 切り抜いたものを並べたり、組み合わせたりしてみよう。何かおもしろい世界が見えてきた？？友達とアドバイスを合せてさらにイメージを広げていこう。
- ④ 台紙の色を選ぼう。材料を引き立たせるのに効果的な色を選ぼう。紙に技法を施す場合は技法を選んで、彩色しよう。(技法の組み合わせもおもしろい！)
- ⑤ おもしろい世界に自分も入りたくなったら、入ってもOK！いろんなポーズで写真をとろう。大きさも考えて！
- ⑥ イメージに合った材料の効果的な表し方を考えて台紙にレイアウトをしていこう。
いきなりべったりのりをつけて貼るのではなく、まずは貼ってはがせるのりを使って貼っていった方が、あとからの修正がしやすいよ！場所が確定したら、自分ののりでしっかり接着しよう。

⑦ 材料の効果的な使い方を考えよう。

紙などの材料を「操作」しよう！

切り方・・・「破る」・「直線で切る」・「曲線で切る」・「ふちをのこして切る」・「ふちを残さず切る」・「効果的な切り方（ぎざぎざ、もくもくなど）で切る」

加工法…「穴をあける」「切込みを入れる」「立体的にする」「折る」「丸める」

配置の仕方…「画面からはみ出すように」「置く位置を変える」「向きを変える」

接合法…「重ねて貼る」・「穴から覗かせて貼る」・「浮かせて貼る」・「台紙に切込みを入れてはさむ」

その他 「窓をつける」「扉をつける」

さあ、これからあなたが考えたあなただけのオリジナルの奇想天外な世界をつくっていくよ！

作品例やみんなの話、持ってきた材料から、今考えているのはどんな世界？どんなことを思いついた？

ひらめいた発想をどんどん記録していこう！

例) ○○と○○をつなげたら○○に見えたから○○の世界を表したい！

イクラの写真とたいやきの写真を見ていたらおもしろい世界が見えてきた！イクラを水の泡にしたらおもしろそう！

野菜を見てたら手と足が生えてきそうな気がした！ならば生えさせちゃおう！畑から冷蔵庫まで自分で歩いてもらおう！

餃子を切り抜いたら階段に見えてきた・・・いっぱい並べたら迷路に見えてきた・・・よし！名付けてシェフになるまで迷路を作ろう！

などなど。発想は自由です！！

製作記録カード

名前()

日付	今日のひらめき・次回やりたいこと・迷っていること

